

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年10月18日(2023.10.18)

【公開番号】特開2023-90841(P2023-90841A)

【公開日】令和5年6月29日(2023.6.29)

【年通号数】公開公報(特許)2023-121

【出願番号】特願2023-73360(P2023-73360)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月10日(2023.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立に基づいて判定を行い、前記判定に基づいて実行する図柄の変動表示が予め定められた特別結果になると、遊技者に有利な特別遊技を実行可能である遊技機において、

遊技者が操作可能な操作手段と、

遊技状態として通常遊技状態と、前記通常遊技状態より有利な特定遊技状態とを有し、前記変動表示において前記操作手段を振動させる振動演出を実行可能であり、

電源供給の開始後に前記操作手段を振動させる初期振動を実行可能であり、

前記振動演出には、

30

操作有効期間を発生させると共に前記操作有効期間中の前記操作手段の操作に応じて振動させる第1振動演出と、

操作有効期間を発生させずに前記操作手段を振動させる第2振動演出と、を含み、

前記初期振動と前記第2振動演出とでは、前記操作手段を異なる様様で振動させることが可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0 0 0 7】

上記課題を解決するため、本発明の遊技機(1)によれば、始動条件の成立(入賞口45, 47への入賞)に基づいて判定を行い、前記判定に基づいて実行する図柄(特別図柄)の変動表示が予め定められた特別結果になると、遊技者に有利な特別遊技(大当たり遊技)を実行可能である遊技機(1)において、遊技者が操作可能な操作手段(演出ボタン17、演出レバー)と、遊技状態として通常遊技状態と、前記通常遊技状態より有利な特定遊技状態とを有し、前記変動表示において前記操作手段を振動させる振動演出(先読み振動演出、セリフ予告演出、カットイン演出、決め成功演出等)を実行可能であり、電源供給の開始後に前記操作手段を振動させる初期振動を実行可能であり、前記振動演出には、操作有効期間を発生させると共に前記操作有効期間中の前記操作手段の操作に応じて振

50

動させる第1振動演出（セリフ予告演出、カットイン演出、決め成功演出等）と、操作有効期間を発生させずに前記操作手段を振動させる第2振動演出（先読み振動演出等）と、を含み、前記初期振動と前記第2振動演出とでは、前記操作手段を異なる様様で振動させることが可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50